

吟 稲吟OB会会報

No. 30

稲吟会ホームページ <http://www.togin.org/>
稲吟OB会 <http://www.togin.org/alumni/> 稲吟会 <http://www.togin.org/toginkai/>

発行：2008（平成20）年12月15日 発行者：早稲田大学稲吟OB会事務局
編集発行責任者：大竹 茂行（稲吟OB会） 通巻第30号「稲吟OB会NEWS」改題

■目次■ 会長挨拶…1 / News Flash…2,3 / 2008年度OB会定例総会報告…4,5
/ 稲吟会だより…6,7 / 事務局から…8

55周年を見据えた活動を

稲吟OB会会長 大竹茂行（平3）

2008年も残すところ、あとわずかとなりました。年の瀬を迎え、本格的な冬の到来を思わせるような冷え込む日も増えてまいりました。アメリカのサブプライムローン問題に端を発した秋以降の急速な世界的金融不安と経済状況の悪化、そしてそれに関連して日本国内では非正規労働者の「雇い止め」「派遣切り」、新卒学生の内定取り消しなどといったニュースが連日、報道されています。本格的な冬の到来とともに、日本も再び本格的な「冬」の時代を迎えそうな気配が濃厚に漂っています。



さて、去る10月25日、稲吟OB会の定期総会が開催されました。会計報告、活動報告、予算、活動計画など詳細につきましてはこの会報に記載してごさいますのでご覧いただければと思いますが、当日ご参加の会員の皆様から、「ぜひとも新年会を復活してほしい」との強い要望が複数寄せられました。この声に応えるべく、年明けには久々となる新年会を開催したいと考えております。日時、場所など詳細につきましては決まり次第、皆様にご案内申し上げます。また、稲吟会創立55周年まであと2年を切ったことから、OB会としても、早急に準備委員会を発足させることも確認されました。人事につきましては、決まり次第、皆様にご案内申し上げます。さらに、55周年を見据えて、学生との交流の機会についても、今後、増やしてまいりたいと思っています。とにかく、今年は55周年を見据えた活動を中心に行ってまいりたいと思います。

定期総会に先立って、現役の学内吟詠発表大会が小野梓記念講堂にて行われました。その模様もこの紙面にてご紹介しておりますのでご覧いただければと思いますが、私自身、お恥ずかしながら久しぶりに学生の発表会を見る機会となりました。あれこれ注文をつければきりがありませんが、現役諸君の若さ溢れる舞台には大変感銘を受けました。彼らのパワーなら、稲吟会創立55周年も、そして、今後予想

される厳しい就職活動も乗り切ってくれるのではないかと感じました。私たちOBも、彼らに負けな
いよう、今後、力強く活動していく必要があるのではないかと考えさせられました。

OB会長を任ぜられて早いもので1年が経ちました。この間、皆様にはいろいろとご迷惑をおかけし
ております。また、OB会活動に関して様々ご不満があろうかと思ひます。私自身、仕事などを言い訳
にして十分な活動をしてこなかったと反省しております。ただ、皆様から頂いたご批判につきましては
真摯に受け止め、今後のOB会活動に生かしていきたいと考えております。何かございましたらご意見
いただければ幸いに存じます。今後ともよりよいOB会にすべく、そして2年後の55周年を成功させる
べく努力してまいる所存でございますので皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



◆◆ News Flash ◆◆

早稲田大学稲吟会第53回発表会開催される

2008年10月25日(土)、早稲田大学小野記念講堂にて稲吟会の発表会が開催されました。発表会は
稲吟会会詩「書懷」に始まり、独吟、合吟、扇舞、劍舞、構成吟など多彩な演目が二部構成で披露され
ました。

大会には大川悟風先生はじめ水府流師範の先生方がお見えになったほか、明治大学詩吟研究部や関西
大学詩吟部などの友情校も駆けつけ、交流を深めました。

♪大会でのスナップより♪





2009年，稲吟OB会新年会復活！

今年は久々に新年会が復活します！ 会員相互のより一層の交流を図るため、来年初頭に新年会を開催することが決定しました。日時・場所等の詳細については、決まり次第web等にてご案内いたします。奮ってご参加ください。

◆◆ 2008年度稲吟OB会定例総会報告 ◆◆

55周年記念大会に向けての体制作りはじまる

2008年10月25日(土) cafeMiyama 高田馬場店会議室において、2008年度の稲吟OB会定例総会が開催されました。当日は12名のOBに加え、オブザーバーとして稲吟会の根間博之幹事長も参加して、いよいよ2年後となった55周年大会を迎えるにあたっての体制作りについて議論が交わされました。

55周年大会については、「55周年準備委員会」(仮称)を速やかに発足させる方針が了承され、準備委員長の人事については会長に一任されることとなりました。

■ 2007/2008年度通常会計決算

2007/2008年度 通常会計 決算

収入の部			支出の部			
費目	当初予算	決算	費目	(前年度決算)	当初予算	決算
前年度繰越金	1,703,453	1,703,453	通信費	82,740	200,000	87,104
年会費 ^{*1}	500,000	794,000	対稲吟会支援	120,000	120,000	120,000
寄付金 ^{*2}	0	0	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000	60,000
			会報製作費	6,360	60,000	81,345
			広報関係費	3,390	30,000	3,390
			行事関係費	38,660	150,000	25,280
			慶弔費	0	50,000	0
			役員会議費	0	50,000	3,100
			事務局経費	5,208	80,000	2,219
			記念大会特別会計繰入	0	1,000,000	1,000,000
			125周年記念事業寄付補助	-	200,000	200,000
			地方等支援	0	20,000	0
			振込手数料	870	5,000	630
			予備費	0	178,453	0
			次年度繰越金	1,703,453	0	914,385
合計	2,203,453	2,497,453	合計	2,020,681	2,203,453	2,497,453

*1112件

2008/10/10

■ 2007/2008年度活動報告

○2007(平成19)年

10月27日 稲吟会第52回大会

葛西区民館

11月11日 2007年度定例総会

cafeMiyama(高田馬場)

12月9日 稲吟OB会会報28号発行・年会費請求

事務局

○2008(平成20)年

2月29日 早稲田大学創立125周年記念事業募金への寄付

3月4-9日 稲吟会春合宿(山梨・河口湖)

8月27日	稲吟OB会会報29号発行・年会費請求	事務局
8月30日	稲吟OB会・稲吟会 交流行事	新宿ライオン
9月2-7日	稲吟会夏合宿(千葉・岩井海岸)	

■ 2008/2009年度活動計画

○2008(平成20)年

10月25日	稲吟会第53回大会 2008年度定例総会	小野梓記念講堂 cafeMiyama(高田馬場)
12月	稲吟OB会会報30号発行・ 年会費請求	事務局

○2009(平成21)年

3月	稲吟会春合宿	
8月	稲吟OB会会報31号発行・年会費請求	事務局
8月	稲吟会・OB会交流行事	
9月	稲吟会夏合宿	

■ 2008/2009年度通常会計予算

2008/2009年度(2008/10/1-2009/9/30)通常会計 予算

収入の部			支出の部			
費目	前年決算	予算	費目	前年度予算	前年度決算	予算
前年度繰越金	914,385	914,385	通信費	200,000	87,104	120,000
年会費*	794,000	500,000	対稲吟会支援	120,000	120,000	120,000
寄付金	0	0	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000	60,000
			会報製作費	60,000	81,345	60,000
			広報関係費	30,000	3,390	30,000
			行事関係費	150,000	25,280	150,000
			慶弔費	50,000	0	50,000
			役員会議費	50,000	3,100	50,000
			事務局経費	80,000	2,219	80,000
			記念大会特別会計繰入	1,000,000	1,000,000	500,000
			125周年記念事業寄付補助	200,000	200,000	0
			地方等支援	20,000	0	40,000
			振込手数料	5,000	630	5,000
			予備費	178,453	0	149,385
			次年度繰越金	0	914,385	0
合計	1,708,385	1,414,385	合計		2,497,453	1,414,385

◆◆ 稲吟会だより ◆◆

第 54 代執行部発足へ、55 周年へ向けて稲吟会始動

10 月 25 日に発表会を成功裏に開催した稲吟会は、本城将実新幹事長を中心とした第 54 代執行部への世代交代を迎えます。人間科学部からの幹事長選出は稲吟会で初めてのことです。今回は、本城新幹事長と 53 代執行部の任を終えたばかりの根間前幹事長、そして初めて発表会を経験した新人の加賀美慧さんから寄稿していただきました。

楽しい会作りのために

第 54 代幹事長 本城将実（人科 2）

私には「自分がやりたいことはこの稲吟会にあるのだろうか。」そう疑念を抱いてしばらく会活動に参加していない時期がありました。そんな中なぜ幹事長になろうと思ったのか。それは、こんな自分でも受け入れてくれる稲吟会こそ自分の居場所であり、自分が中心となって支えていきたいと思ったからです。今では詩吟や舞が上達することに喜びを思えるとともに、会員、友情校、友好サークル、OBの方々等様々な考えを持つ人に出会え、稲吟会にいて本当によかったと思っています。

幹事長として今後 1 年間を通して私がしていきたいことは、ひとえに楽しい会作りです。今の稲吟会には、練習に参加しなければいけない、飲み会に行かなければいけないという雰囲気があることは事実です。そういった空気を払拭し、練習にしても、他の会活動にしても誰もが楽しんで、積極的に参加したくなるような会にしていきたい。その上で来年の春にはたくさんの新入生を入会させたい。今の状況では 1、2 年の会員数が少なく、いろいろな活動がしにくいという現状があります。多様な考えや趣味を持つ人が集まってこそその「稲吟会」であり、人が沢山いれば会により活気も加わると思います。

幹事長という役を担うにあたっては、自分自身も変えていかなければいけないと思っています。今まで私は、自分と気の合うものとしか関わろうとしてきませんでした。今後よりよい会を作っていくためには、例え嫌いだとか気が合わないと思った人間でも、あきらめずに関わろうとする姿勢を持つていかなければならないと思います。また幹事長選挙や他の幹事選挙を通して、考えを掘り下げていくことの大切さ、他者と妥協案を探ることの難しさを知りました。よりよい会を築くために自分を変えなければならぬ、はては自分を否定しなければならぬ時もあるかもしれない。しかし自分のすべてを捧げなければ務まらないからこそ、幹事長という役職は素晴らしいのだと思います。

伝統ある稲吟会の幹事長となった以上は、全力で職務を全うしていきます。OB、OGの諸先輩方、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

笑う門には福来る

第 53 代幹事長 根間博之（社学 3）

「笑う門には福来る」とはよく言ったものです。福が来るから笑うのではない。笑うから福がやって来るのです。

稲吟会における幹事長生活はこの諺を実感する一年間でした。就任当初、執行部を中心として対立が発生し、サークルとしての一体感に欠ける状況に陥りました。私自身も会活動をしっかり運営するというハード面にのみ気を取られ、会員を楽しませるという意識に欠けていたように思えます。それ以降、まずは目の前の人を喜ばせるという意識を持って活動するようになりました。何をやるにもまずは笑い

ながら和気藹々とやりました。

そうすると、不思議と幸運がついてきました。発表会の会場として、早稲田にある小野記念講堂を利用できるようになったのです。そしてややバラバラだった雰囲気も、夏合宿を経て一体感が増して参りました。発表会という共通の目標のもと、結束が目に見えて固くなっていきました。

今年は昨年と比べ執行部が頼りないと言われました。人数も少なく、忙しい人が多かったため、発表会は大丈夫なのかと言われました。多くの会員も発表会が終わるまでは不安でいっぱいだったと思います。しかし、私は発表会が始まる前に、発表会の成功を確信していました。不平を言い続けていた会員が黙々と練習をしていたり、他の活動で忙しい会員が無理を押しつけて練習に来てくれていたり。この状況で失敗するはずが無いと考えていました。

そして本番当日、天候が心配されましたが幸い雨は降りませんでした。そして、昨年の倍となる百名もの方にお越し頂きました。それも、稲吟会関係者だけでなく、一般の方々がたくさんいらっしゃいました。夏休みに各地の詩吟教室に広報に周ったところ、その系列の教室の方まで呼んで来て下さったのです。そして、発表会自体も会員皆が全力を尽くすことが出来ました。賛否両論を頂いた幹事長挨拶は、予定通りのことを言わせて頂きましたし、予想通りの反応を頂きました。後悔はありません。

発表会が終わって、コンパも三次会となって気が緩んだのか、ふと涙が止まらなくなりました。この涙を流すために一年間頑張ったと言っても過言ではありません。多くの人に支えられて発表会を開催でき、そして嬉し涙を流せる自分は何と幸せなのだろうと思いました。

私は稲吟会の執行部生活を経て、笑い、楽しみながら努力するということを覚えました。私は以前よりよく笑うようになりました。そして、最近ラッキーなことが続くようになりましたし、何よりよく笑うことで人生が楽しくなりました。自分をここまで変えてくれた稲吟会に感謝の念でいっぱいです。

最後になりましたが、現役を暖かい目で見守って下さったOB・OG諸先輩にお礼の言葉を申し上げますとともに、これからもご指導ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

万歳稲吟会

加賀美 慧（政経1）

私が稲吟会に入ったのは6月のことでした。歌うことが好き、古典芸能っていいな、そんな私の興味を詩吟は一度に叶えてくれるのではないかと、そのような気持ちで私は稲吟会を訪ねました。

初めて稲吟会のみなどの出会いとなった昼練習では、会員は発声練習から吟題練習にいたるまでみな真剣な態度で練習に励んでいました。やがて練習が終わると、一転して穏やかな雰囲気になり、先輩方は初対面でぎこちない私に対し、あたたかく接してくださいました。すぐに自分は会員の方々と打ち解けることができ、自然と部室に足を運ばせるようにもなりました。いつも居心地のいい部室、さらには他サークルとの交流も知り、いまでは稲吟会のとりことなっています。

10月行われた発表会では、私は独吟、扇舞と、構成吟の劇のキャストに抜擢されました。夏から発表会への練習に励んできた結果が実り、当日は精一杯の表現をすることができ、達成感にあふれる思いでした。また、会の進行を担った諸先輩方の頑張りには想像以上のものだったと思います。これからもその感動を忘れず、伝統ある稲吟会の一員であることに誇りを持つとともに、そのすばらしさを後世にも伝え続けたいと思います。



◆◆ 事務局から ◆◆

会員近況情報

■ OB会員名簿正誤 お手元の名簿(2007年度版)について、以下の15件を追加・修正ください。(略)

名簿の内容について変更などありましたら、meibo@togin.orgまでお知らせください。

年会費の納入にご協力ください

会員の皆様には、年会費(5,000円)の納入をお願いしております。いつも健全な会運営のためにご協力いただき、ありがとうございます。まだお支払いでない方は下記の口座にお納めください。なお、2年以上お振込の確認が出来ない場合、名簿・会報の郵送サービスが停止されます。

各位の会費納入実績につきましては、稲吟OB会事務局会計幹事の板倉(平10)に電子メール(kaikei@togin.org)もしくは往復はがきにてお問合せください。往復はがきの場合は、ご自身の氏名、住所、卒業年度を返信面に記入の上板倉までお送りください。電話でのお問い合わせはご遠慮ください。お答えできるのは、お問合せを頂いたご本人の納入実績に限ります。

口座名	早稲田大学稲吟OB会	振替	00150-7-61740
年会費	5,000円		

恐れ入りますが振替手数料はご負担ください。窓口の場合140円です。なお、2009年9月30日までは、送金にATMを利用したばあい手数料がかかりません。

～ 担当者から ～

諸般の事情で今号まで会報作りのお手伝いをする事になりました。今度こそ最後？(たかはし)